

凌雲台

ふるさとに笑顔広げる 龍野っ子
～笑顔 元気 感謝 安全～

龍野小学校学校便り
第10号
令和3年5月11日
文責：校長 大江律子

一秒の心づかい ～「ちょっとした行動で周りの人も嬉しくなる！」～

10日(月) zoomで5月の全校朝会を実施しました。今回は、「1秒の心づかい」について話をしました。まず、1秒の時間をはかり、1秒の時間を体感しました。トイレのスリッパの写真「A」「B」どちらを使いたいか尋ねました。子どもたちは「B」を使いたいと考えました。「1秒の心づかい」で、スリッパをきれいに並べることができます。これは次に人への「心配り」でもあります。

次に、「6年生の靴箱」の写真を見せました。とても、きれいに並んでいます。靴を入れるとき、「1秒の心づかい」をすることで、靴がきれいに並びます。昨年度の凌雲台で紹介しましたが、靴が並ぶと「心がそろう」と言われています。一人一人が「1秒の心づかい」をすることで、心もそろう、気持ちよくスタートできます。

今、龍野っ子は、「なりたい自分」になるために『あかるくいつもさきにつたわる声で』あいさつ玉をゲットしよう」と取り組んでいます。毎朝、登校指導をしてくださる方、あいさつ運動で登校指導をしてくださる保護者の方に自分から進んであいさつができているか尋ねました。地域の方や保護者の方は、「龍野っ子」が「事故に遭わないように」「元気に登校できるように」見守ってください。地域の方々は、暑い日も、寒い日も、雨の日も、雪の日も毎日見守ってくださっています。「1秒の心づかい」のあいさつをして感謝を伝えようと話しました。

5月は、「1秒の心づかい」について子どもたちに取り組んでいこうと伝えました。ほんの少しの心づかいで、周りの人がさわやかに過ごせることがたくさんあります。1番目は、「あいさつ」次に「トイレのスリッパ」や「くつならべ」・・・1秒でできる心づかいができる龍野っ子になってほしいと思っています。昨日、下校時間に教室を回っていると、低学年のスリッパがきちんと並んでいました。トイレから出てきた1年生の子どもたちが並べてくれたものです。高学年のトイレでは、男子トイレのスリッパが並んでいませんでした。するとトイレから出てきた5年生の男子がきれいに並べてくれました。本当にステキな子どもたちです。「1秒の心づかい」が龍野っ子に広がっていくことでしょう！5月の子どもたちの姿が楽しみです。



最後までやり通す力

子どもたちは、たくさんの可能性をもっています。本校の身につける力の一つが「家庭学習の習慣化」です。今、学校では宿題のやり直しなど徹底的に取り組んでいます。なかには、途中で投げ出しそうになる子どももいますが、将来「なりたい自分」になるためにはあきらめずにやりぬく力を育てていくことも大切です。ご家庭でも是非、「宿題できた?」「ていねいに書いた?」と声をかけていただければと思います。今、ここでごがんばることが子どもたちの将来につながっていきます。よろしくお祈りします！